

# 外部大学院への進学準備

## ■ はじめに

大学院進学を志す中で、外部大学院（琉大とは異なる大学の大学院）を検討している方はいますか？ 外部進学は不安や悩みも伴うと思いますが、新しい研究環境に踏み出す大きな一歩となります。今回は外部進学の主なメリットや、進学準備を進める際のステップについて紹介します。

## ■ 外部進学のメリット


外部進学のメリットは、今の大学に自身の興味のある分野を扱っている研究室が少ない場合に、そのテーマを**より専門的に追求できる研究室に所属できる**ことです。

大学や研究室によって得意とする分野や手法は異なり、他大学には自分の関心により適した指導教員がいて、研究設備が整っている場合があります。また、新しい環境で学ぶことで、人脈を広げ、多様な視点に触れることもできます。

## ■ 外部大学院に進学するためのステップ

### Step I 情報収集

- 大学院説明会に参加する（例年3～5月ごろ）
- 学会やセミナーに参加して、他の大学の研究室で行われている研究テーマを知る
- 研究室HP等から研究室や学生の研究分野・研究テーマを調べる
- 論文を読んで、どんな研究テーマがあるのかを学ぶ

 博士前期課程（修士課程）や博士後期課程で進学する大学院や研究室を決める

### Step II 研究室訪問

- 研究室のゼミやセミナーに参加してみる
- 何に興味があるのかを伝えて、どんな研究ができそうか相談する
- 行きたい研究室の学生とも話してみて、研究室の雰囲気を知る

## 研究室訪問のながれ

1～2ヶ月前：研究室の先生にメールで連絡をとり、研究室訪問の日程を決める  
(先生方は忙しいので、なるべく早めに連絡する！)

訪問当日まで：興味がある研究について先行研究を調べ、相談内容をまとめておく

＊ 外部から受験する場合、志望大学院の学生との情報共有が大切です。  
連絡先を交換する等、大学に戻った後も色々と相談できるようにしておきましょう。

## Step III 入試の情報を集める

- 入試の日程や科目を調べる
- 大学の事務室や研究室の先生、先輩から過去問をもらう
- 先生や先輩に出題傾向を聞いてみる

＊ 大学院入試では、試験日程や科目、出題傾向が大学によって大きく異なるため、事前にしっかり情報を集めて対策を行いましょう。

## Step IV 入試対策を行う

- 過去問をなるべく多く解いて専門分野についての知識を深める
- ＊ 元の大学では勉強しなかった分野が出ることもあります
- TOEICやTOEFLなどのスコア提出がある場合、なるべく早く勉強を始める
- 指導教員と相談しながら綿密な研究計画を練る

## 研究計画のポイント

背景：どのような先行研究があり、何が分かっているのか

意義：自分の研究を行うことで、どのような知見が新たに得られるのか

目的：大学院の研究では、何をどこまで明らかにするのか

方法：研究対象や調査地域、解析手法などを具体的に

＊ 先行研究と比較して、自分の研究の新規性や独創性を述べられるといいです。